鉄骨柱の基礎

■間柱の基礎①

間柱や補助的な柱などは、仕上がりきまりなどの関係から位置や高さが不揃いになりがちで未解決のまま、鉄骨の建方やコンクリートのおさまりが行なわれがちである。

間柱は、主体柱と比較すると全体力は少ないが、構造的力上では重要な部分も多い。十分に検討して設計図書に明確に指示しておきたい。どんな小規模の間柱でも必ず基礎にアンカーボルトを埋込んだ基礎を設置してから、柱を建込み固定しなければならない。

内容 鉄骨間柱のベースプレートの位置とつなぎ梁の高さ関係が悪く、梁の上は鉄筋が柱に当り、鉄筋を切断しておきめた。それにアンカーボルトも埋込んでいない。

教訓

アンカーボルトを設け、補強材でつなぎ梁を補強する。

MEMO